

salesforce

Pardot ユーザ移行管理ガイド

Salesforce, Spring '21



'21

本書の英語版と翻訳版で相違がある場合は英語版を優先するものとします。

© Copyright 2000–2020 salesforce.com, inc. All rights reserved. Salesforce およびその他の名称や商標は、salesforce.com, inc. の登録商標です。本ドキュメントに記載されたその他の商標は、各社に所有権があります。

目次

はじめに	1
ユーザ移行計画ワークシート	2
Salesforce-Pardot コネクタをアップグレードする	3
Salesforce-Pardot コネクタを v2 へアップグレードする	3
Pardot 限定ユーザーの一覧表の作成	4
Pardot および Salesforce でのユーザレコードを作成する	5
単一ユーザを追加する	5
複数のユーザを追加する	6
ユーザをマッピングし、Salesforce シングルサインオンを有効化する	7
ユーザーの同期を使用したアカウントの設定	7
Salesforce と Pardot のユーザー名の対応付け	7
ユーザーの同期を使用しないアカウントの設定	8
ユーザーのインポート	8
API インテグレーションを更新する	10
WordPress プラグインを更新する	11
Pardot WordPress プラグインをインストールする	11
次のステップ	12

はじめに

2021年2月15日以降は、すべてのユーザがSalesforce シングルサインオン (SSO) を使用して Pardot にアクセスする必要があります。2月15日の期日を過ぎて、Pardot 限定ユーザがログインできなくなった場合は、SSOを設定して再びアクセスできるようにしてください。このガイドでは、プロセスの各ステップを説明します。

重要: SSO でログインできる管理者がいないために Pardot にアクセスできない場合は、[Pardot サポート](#)にお問い合わせください。

開始する前に、必ず次のリソースを確認してください。

- [Pardot ユーザ移行の概要](#)
- [Pardot ユーザ移行の FAQ](#)

プロセスの概要

ユーザが再びアクセスできるようにするために必要なプロセスの大きな概要を以下に示します。

- 現在の Pardot 限定ユーザの一覧表を作成する。
- Pardot 限定ユーザを Salesforce ユーザにマッピングする。
- すべてのユーザの Salesforce SSO を有効化する。
- API インテグレーションを更新する (該当する場合)。
- WordPress プラグインを更新する (該当する場合)。

Salesforce Identity ライセンスについて

ユーザが最新の Pardot 機能を確実に利用できるように、当社はすべての Salesforce ユーザにフル CRM ライセンスを与えることを推奨しています。ただしこれは全員に対しては不可能な場合もあることを理解しているため、現在は Salesforce 組織に [100 件の Salesforce Identity ライセンス](#) がバンドルされています。これらのライセンスはすぐに利用可能で、Pardot に割り当てる Salesforce ユーザの新規作成に使用できます。

Identity ライセンスにより、Salesforce でログインして Pardot にアクセスすることができます。Identity ライセンスのユーザは、Salesforce と連動している Pardot Lightning アプリケーションや機能 (接続されたキャンペーン、エンゲージメント履歴ダッシュボード、リードや取引先責任者のレコードなど) にはアクセスできません。

ユーザ移行計画ワークシート

Pardot ユーザーが再びアクセスできるようにするための手順といくつかの推奨事項を示します。組織の規模や構造によっては、このプロセスを補助する管理者が複数必要な場合もあります。このワークシートを印刷または保存し、各タスクの計画や進捗状況の追跡にお役立てください。

タスク	所有者	完了状況	メモ
Salesforce-Pardot コネクターを v2 へアップグレードする (推奨)			
Pardot 限定ユーザーの一覧表を作成する			
新しい Salesforce ユーザーを作成する (必要な場合)			
すべての Pardot ユーザーを Salesforce ユーザーにマッピングし、ユーザーマッピングが正しいことを確認する			
すべてのユーザーの Salesforce SSO を有効化する			
Salesforce ユーザーの同期を有効化する (推奨)			
Salesforce SSO を使用するように API インテグレーションを更新する (該当する場合)			
WordPress プラグインを更新する (該当する場合)			
ユーザーが Pardot にアクセスできることを確認する			

Salesforce-Pardot コネクタをアップグレードする

オンデマンドのメタデータ同期、Business Unit Switcher、Pardot インテグレーションユーザーなどの改良点を利用するには、Salesforce-Pardot コネクターのv2にアップグレードします。この手順は、ユーザーの移行で必須ではありませんが、Pardot を最大限に活用するためには強くお勧めします。Pardot と Salesforce を接続していない場合は、すぐにコネクタを設定してください。

Salesforce-Pardot コネクタを v2 へアップグレードする

Salesforce-Pardot コネクターのv2へのアップグレードは簡単に行え、Pardot を最大限に活用できるようになります。

 **メモ:** コネクタのアップグレードによるアカウントの変更は恒久的なものです。アップグレードプロセスを開始する前に考慮事項をよくお読みください。

- [Connectors (コネクタ)] ページを開きます。
 - Pardot で、[Admin (管理)]、[Connectors (コネクター)] の順に選択します。
 - Lightning アプリケーションで、[Pardot Settings (Pardot 設定)]、[Connectors (コネクタ)] の順に選択します。
- Salesforce コネクタの横にある  アイコンをクリックし、[Upgrade(アップグレード)] を選択します。
- アカウントの変更を承認し、アップグレードに関する考慮事項を確認したことを認証します。
- [Next (次へ)] をクリックします。
- コネクタユーザを選択し、[Choose User (ユーザを選択)] をクリックします。
- 選択内容を確認し、[Upgrade Now (すぐにアップグレード)] をクリックします。ステップ3でインテグレーションユーザを選択した場合は、Salesforce にログインしてアップグレードを完了させる必要があります。アップグレードが完了すると、確認メールが送信されます。

エディション

使用可能なエディション:
すべての Pardot エディション

ユーザ権限

Salesforce-Pardot コネクタをアップグレードする

- Pardot 管理者ロール

Pardot 限定ユーザーの一覧表の作成

変更を行う前に、必要なアクセス権が付与されていないユーザーが確認できるように、Pardot 限定ユーザーの一覧表を作成します。各ユーザーが Pardot で正しいロールと権限を持っていることを確認してください。

Pardot でユーザにフィルタをかけ、Pardot 限定ユーザのリストを表示します。必要な場合は、.csv エクスポートを作成してそこから作業することもできます。

1. [Users (ユーザ)] ページを開きます。[Admin (管理)] (Lightning アプリケーションでは [Pardot Settings (Pardot を設定)]) を選択し、[User Management (ユーザ管理)] > [Users (ユーザ)] を選択します。
2. [View (表示)] ドロップダウンメニューをクリックし、[Pardot-only Users (Pardot 限定ユーザー)] を選択して、Salesforce ユーザーにマッピングする必要のあるユーザーを表示します。
3. 作業用のエクスポートを作成するには、[Tools (ツール)] をクリックし、[CSV Export (CSV エクスポート)] を選択します。各エクスポートが完了すると、メールで通知されます。エクスポートは、Pardot アカウント設定の [Exports (エクスポート)] ページでのダウンロードに使用できます。

無効または不要であると把握している Pardot 限定ユーザがいる場合は、削除することができます。ユーザを削除するには、 をクリックして [Delete (削除)] を選択します。

エディション

使用可能なエディション:
すべての Pardot エディション

ユーザ権限

Pardot ユーザを管理する

- Pardot 管理者ロール

Pardot および Salesforce でのユーザレコードを作成する

Salesforce ユーザを特定または作成し、各 Pardot 限定ユーザと関連付けます。

ユーザが最新の Pardot 機能を確実に利用できるように、当社はすべての Salesforce ユーザにフル CRM ライセンスを与えることを推奨しています。ただしこれは全員に対しては不可能な場合もあることを理解しているため、現在は Salesforce 組織に 100 件の Salesforce Identity ライセンスがバンドルされています。これらのライセンスはすぐに利用可能で、Pardot に割り当てる Salesforce ユーザーの新規作成に使用できます。

 **メモ:** Salesforce でのユーザの追加についてのガイドラインをよく読んでおいてください。

単一ユーザを追加する

Pardot 限定ユーザの数に応じて、1 度に 1 人ずつ新規 Salesforce ユーザの追加を選択できます。

複数のユーザを追加する

1 度に最大 10 人のユーザを組織にすばやく追加することができます。Salesforce のエディションによって、追加できるユーザの最大数が決まります。

単一ユーザを追加する

Pardot 限定ユーザの数に応じて、1 度に 1 人ずつ新規 Salesforce ユーザの追加を選択できます。

 **メモ:** メールとユーザ名は必須項目です。メールは組織全体で再利用できますが、ユーザ名は一意的なものである必要があります。ユーザ名はメールアドレス形式にする必要がありますが、実際のメールや有効なメールである必要はありません。

1. [Setup (設定)] から、[QuickFind (クイック検索)] ボックスに「ユーザ」と入力し、[ユーザ] を選択します。
2. [New User (新規ユーザ)] をクリックし、必須項目に入力します。ユーザライセンスについては、Pardot アカウントにバンドルされている 100 の Salesforce Identity ライセンスの内の 1 つを使用できます。
3. ログイン名と仮パスワードを各新規ユーザーにメールするには、[Generate passwords and notify user via email (パスワードを生成しメールでユーザーに通知する)] を選択します。
4. 入力を終わったら、[Save (保存)] または [Save & New (保存 & 新規)] をクリックして別の Salesforce ユーザを作成します。

エディション

使用可能なインターフェース: Salesforce Classic および Lightning Experience の両方

使用可能なエディション:
Contact Manager Edition、
Essentials Edition、
Group Edition、
Professional Edition、
Enterprise Edition、
Performance Edition、
Unlimited Edition、
Developer Edition、および
Database.com Edition

ユーザ権限

ユーザを作成する

- 「内部ユーザの管理」

複数のユーザを追加する

1 度に最大 10 人のユーザを組織にすばやく追加することができます。Salesforce のエディションによって、追加できるユーザの最大数が決まります。

1. [Setup (設定)] から、[Quick Find (クイック検索)] ボックスに 「Users (ユーザ)」 と入力し、[User (ユーザ)] を選択します。
2. [Add Multiple Users (複数のユーザの追加)] をクリックします。
3. 組織で利用できるユーザライセンスタイプが複数ある場合は、作成しようとしているユーザに関連付けるユーザライセンスを選択します。ユーザライセンスによって利用できるプロファイルが決まります。
4. 各ユーザの情報を指定します。
5. ログイン名と仮パスワードを各新規ユーザにメールするには、[Generate passwords and notify user via email (パスワードを生成しメールでユーザに通知する)] を選択します。
6. [保存] をクリックします。
7. この方法で作成したユーザについてさらに詳細を指定するには、必要に応じて個々のユーザを編集します。

エディション

使用可能なインターフェース: Salesforce Classic および Lightning Experience の両方

使用可能なエディション:
Professional Edition、
Enterprise Edition、
Performance Edition、
Unlimited Edition、
Developer Edition、および
Database.com Edition

ユーザ権限

ユーザを作成する

- 「内部ユーザの管理」

ユーザをマッピングし、Salesforce シングルサインオンを有効化する

Pardot 限定ユーザを Salesforce の適切なユーザにマッピングし、Salesforce シングルサインオン (SSO) を有効化します。この手順を完了させるプロセスは、Pardot で [Salesforce User Sync (Salesforce ユーザを同期)] を有効化しているかどうかによって異なります。

エディション

使用可能なエディション:
すべての Pardot エディション

ユーザーの同期を使用したアカウントの設定

Pardot で [Salesforce User Sync (Salesforce ユーザの同期)] を有効化している場合は、Pardot 限定ユーザを適切な Salesforce ユーザにマッピングします。マッピングされたユーザは、[Salesforce User Sync (Salesforce ユーザの同期)] によって自動的にシングルサインオン (SSO) に変換されます。

ユーザーの同期を使用しないアカウントの設定

Pardot アカウントで [Salesforce User Sync (Salesforce ユーザの同期)] を有効化していない場合、Salesforce ユーザの .csv ファイルを作成してそれを Pardot にインポートすることができます。インポートプロセスの一環として、Salesforce ユーザを適切な Pardot ユーザにマッピングし、Salesforce シングルサインオン (SSO) を有効化します。

ユーザーの同期を使用したアカウントの設定

Pardot で [Salesforce User Sync (Salesforce ユーザの同期)] を有効化している場合は、Pardot 限定ユーザを適切な Salesforce ユーザにマッピングします。マッピングされたユーザは、[Salesforce User Sync (Salesforce ユーザの同期)] によって自動的にシングルサインオン (SSO) に変換されます。

 **メモ:** SSO に変換されたユーザーは、Pardot 認証情報でログインすることができなくなります。ユーザーのマッピングを開始する前に、この変更について Pardot 限定ユーザに通知してください。

Salesforce と Pardot のユーザー名の対応付け

すべての Pardot ユーザーを関連付けられた Salesforce ユーザーレコードにマップします。その後、Salesforce ユーザーの同期により同期済みユーザーに変換されます。Salesforce ユーザーの同期を使用しない場合、手動でユーザーの Salesforce シングルサインオン (SSO) を有効にできます。

Salesforce と Pardot のユーザー名の対応付け

すべての Pardot ユーザーを関連付けられた Salesforce ユーザーレコードにマップします。その後、Salesforce ユーザーの同期により同期済みユーザーに変換されます。Salesforce ユーザーの同期を使用しない場合、手動でユーザーの Salesforce シングルサインオン (SSO) を有効にできます。

 **メモ:** 開始する前に、必ずマッピングする Pardot ユーザーと Salesforce ユーザーを作成しておいてください。

1. Pardot ユーザーレコードを編集用を開きます。

2. [CRM ユーザー名] ドロップダウンから Salesforce ユーザーを選択します。
3. ユーザーを保存します。
4. ユーザーレコードの [CRM ユーザー] 行で [今すぐ検証] リンクをクリックします。マッピングするユーザーごとに、この手順を繰り返します。

ユーザーの同期を使用しないアカウントの設定

Pardot アカウントで [Salesforce User Sync (Salesforce ユーザの同期)] を有効化していない場合、Salesforce ユーザの .csv ファイルを作成してそれを Pardot にインポートすることができます。インポートプロセスの一環として、Salesforce ユーザを適切な Pardot ユーザにマッピングし、Salesforce シングルサインオン (SSO) を有効化します。

ユーザ移行の要件

インポートツールを使用してユーザのマッピングと Salesforce SSO の有効化を行う前に、次の要件に留意してください。

- 開始する前にインポート用の .csv ファイルを作成します。CRM ユーザ名のヘッダを含め、Salesforce ユーザのユーザ名をリスト化し、それらを Pardot のユーザにマッピングできるようにします。
- インポートにおいてユーザーの Salesforce SSO を有効化します。

ユーザーのインポート

CSV ファイルをインポートすることで、50 人までのユーザーを一度に作成または更新できます。

ユーザーのインポート

CSV ファイルをインポートすることで、50 人までのユーザーを一度に作成または更新できます。

- 📌 **メモ:** ユーザーインポートは、[Salesforce ユーザーの同期] を有効にしたアカウントでは使用できません。

始める前に、インポートファイルが次の条件を満たしていることを確認してください。

- UTF-8 エンコードされていて、特殊文字が保持されている。
- 少なくとも、名、姓、メールアドレスのヘッダーを含むヘッダー行がある。
- 100 MB より小さい。

インポートファイルには、次のヘッダーを含めることができます。

- メールアドレス (必須)
- 名 (必須)
- 姓 (必須)
- CRM ユーザー名 (必須)
- 役職

エディション

使用可能なエディション:
すべての Pardot エディション

ユーザ権限

ユーザーをインポートする

- Pardot の管理者ロール

- パスワードの有効期限 (Yes または No)
 - 電話番号
 - ロール
 - タグ
 - URL
1. [ユーザー] ページを開きます。[管理] (Lightning アプリケーションでは [Pardot の設定]) を選択し、[ユーザ管理] > [ユーザ] を選択します。
 2. [ユーザーをインポート] をクリックします。
 3. [ファイルを選択] をクリックして、インポートファイルを選択します。
 4. [次へ] をクリックします。
 5. 項目をマッピングします。
 6. タイムゾーンを選択します。この設定は、インポートするすべてのユーザーに適用されます。
 7. Pardot にアクセスできるように、Salesforce シングルサインオンはデフォルトで選択されています。
 8. インポートの設定が完了したら、[次へ] をクリックします。
 9. インポートを確認し、[確認して保存] をクリックします。
- インポートが完了すると、Pardot から確認メールが送信されます。

API インテグレーションを更新する

API インテグレーションを使用する場合は、Pardot の認証システムではなく Salesforce SSO を認証するように更新します。

開発者と連携して、できるだけ早く Salesforce 経由で認証するように API インテグレーションを更新してください。

Pardot は、次のサードパーティ API インテグレーションパートナーと連携しています。

- Drift
- FeedOtter
- On24
- TaxiForEmail
- Tray.io
- Qualified
- Zapier
- Zoom

このリストにないサードパーティサービスを使用する場合は、そのサードパーティに Pardot API インテグレーションの更新についてお問い合わせください。

関連トピック:

[開発者ドキュメント: Pardot API ドキュメント](#)

WordPress プラグインを更新する

この変更の準備を支援するために、Pardot の WordPress プラグインは Salesforce SSO を介して認証を行うように更新されています。WordPress プラグインを使用している場合は、新しいバージョンに更新する必要があります。

エディション

使用可能なエディション:
すべての Pardot エディション

Pardot WordPress プラグインをインストールする

WordPress.org 管理者が Pardot プラグインをインストールする必要があります。WordPress プラグインは、API アクセスが有効な Pardot エディションでのみ使用できます。

Salesforce SSO 認証を使用するには、Salesforce でプラグイン用の接続アプリケーションを作成する必要があります。「[接続アプリケーションの基本設定](#)」を参照してください。

1. [Pardot WordPress プラグイン](#)をダウンロードします。
2. 次のいずれかの方法でサイトにプラグインを追加します。
 - WordPress 管理領域で、**[Plugins (プラグイン)]**と**[Add New (新規追加)]**をクリックする。Pardotを検索する。
 - `pardot-for-wordpress`を `/wp-content/plugins` ディレクトリにアップロードする。
3. プラグインを有効化します。
4. **[Settings (設定)]**に移動し、**[Pardot Settings (Pardot 設定)]**をクリックします。
5. 認証タイプは **Salesforce SSO** を選択します。
Pardot Authentication は 2021 年 2 月に廃止されます。
6. **[Consumer Key (コンシューマ鍵)]**、**[Consumer Secret (コンシューマの秘密)]**、**[Business Unit ID (ビジネスユニット ID)]**を入力します。
[Consumer Key (コンシューマ鍵)]と**[Consumer Secret (コンシューマの秘密)]**は、Salesforce 設定の接続アプリケーションで検索します。**[Business Unit ID (ビジネスユニット ID)]**は、**[Pardot Account Setup (Pardot アカウントの設定)]**にあります。
7. **[Authenticate with Salesforce (Salesforce で認証)]**をクリックし、Salesforce のユーザ名とパスワードを入力します。
8. キャンペーンを選択します。キャンペーンのPardotトラッキングコードがWordPressサイトに追加されます。
9. 設定を保存します。

次のステップ

このガイドに記載されているすべてのタスクを終えたら、考慮すべきいくつかのフォローアップ項目があります。

Pardot ユーザへ変更を連絡する

Pardot 限定ユーザーに連絡して、Salesforce シングルサインオン (SSO) ログイン情報でログインできることを確認します。

トレーニング環境を計画する

Pardot のトレーニング環境は Pardot 限定認証を使用しています。継続して使用したい有効なトレーニング環境がある場合、このガイドの手順に従って、アクセスが必要なユーザーが Salesforce SSO でログインできるようにします。トレーニング環境にアクセスできない場合は [Pardot サポートまでお問い合わせください](#)。

Pardot Plus、Advanced、または Premium を使用している場合は、テストニーズ用に Developer Sandboxes for Pardot を使用します。

Salesforce User Sync (Salesforce ユーザの同期) を有効化する

[Salesforce User Sync (Salesforce ユーザの同期)] によって、Salesforce で Pardot ユーザを作成し管理します。Salesforce ユーザーの同期を使用して Salesforce でユーザを管理していない場合は、この時点で設定することを検討してください。Pardot と Salesforce のユーザをマッピングしたら、残りの Salesforce ユーザーの同期の設定は簡単です。